調査季報総目次183号~184号

●第183号〈二○一九年三月〉	<コラム>横浜の街路樹	¬育て支援拠点「にこてらす」	厂
	13 全国都市緑化よこはまフェアを開催して		J
) メセイックサイト エ゚」 ドー。 ドードードードードードードードードードードードードート			野屋E
1.はじめに〜特集のねらい〜	1 イフ糸っ 往る ごかく ニラージョン・ジーン 村(発)	3月	社 柿
横浜の発展を支える環境行政の展開~開港	15 国際園芸博覧会の招致に向けて ――― 岩ヶ谷和則	日本語一〇/ 8-4~~ 日本語)話 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20	収会?
り返る	/計画~横浜市税		/有門
3 緑の多様な機能~市民生活と社会に与える影響	調査会におけるみどり税の議論から ――――― 中川譲		刷/
i	17 現状の課題と今後の展望	中小企業の少手	ET.
4 よこはまの緑の現状 ―――― 大内達詩、北野紀子	の課題と今後		
5 緑の取組のあゆみ	向性 ————— 大内達詩、千木良泰彦、関根伸昭、	深野昭江課	- 1 2 8
————————北川知沙、大内達詩、斎藤優太	池上佑里、吉野美沙樹、相場崇	「ヨコハマ・カナガフ留学主就能足進プコグラム」 ・ 第一	0 2
寄稿/緑政学からみた環境先進都市・横浜	②みどりの現状と今後の政策	- 星野尊 政	で円 − 2
	③対談/横浜の課題と今後の展望	コラム/「やさ」ハ日本語「②/やさ」ハ日本語の今 局 「」	コム> 7 1 -
6 横浜みどりアップ計画の10年	—————涌井雅之、野村宜彦		11115 7 6 -
井上雅人、北村直也————————清水健二、枝広育恵、長尾哲也、	持続可能な地域コミュニティを推進 ―――― 大木節裕〈調査研究レポート〉「共感を軸にした三方よし」で、	型) (日・1、) 「材の受入れ・共生のための環境整備~国へ	- 慎沢 4 5 -
ンタビュー/「みどりアップ計画」の	総目次		
8 地域における取組から オプイ イルダイ	●第8号〈二〇一九年十二月〉	長可、本帛園、ミと争、可邛侖三、 編構 〒14 座談会/「暮らしやすさ」を考える 集業 123	
①公園愛護会の取組	特集 外国人材の受入れと多文化共生の推進	小池浩子、	
②市民の森愛護会の取組	玉	ルい出	
③緑の取組を通した地域の活性化	と本市の	〈調査研究レポート〉横浜の都市デザイン・マレーシア〜多文化共生を推進するための必要条件 ―― 滝田祥子	
のふ	変	総目次 桂有生	
⑤企業における横浜の緑の取組	横浜における華僑・華人の160年 ―― 伊		
0 录: こつ と2 公園に関する取組 ――――― 月舎又主、宮コ与	7 教育分野の取組 7 教育分野の取組	編集後記	
ける緑	①これまでの取組経過土屋隆史	本号の発刊に当たっては、各分野の学識経験者の方々、条列制定に関わられた	れ た
み	②日本語支援拠点施設「ひまわり」における取組	「PRO 17 というとは、アイスのではないのでは、アイスのでは アイスのでは、アイ	チザ、オ
②横浜における港湾緑地 ―――― 吉村慶一		管する健康福祉局福祉保健課、資源循環局業務課をはじめ、多くの部署の方々に	々に
ノ - ィ黄兵 ③都市デザインの視点における都市の緑化/ガーデン	②南区における多文化共生コミュニティづくり(JRainbowスペースの活動を通して ――――― 林錆園	今回の特集を通して、いわゆる「ごみ屋敷」問題への理解が深まり、当事者のも御協力をいただきました。お忙しい中、本当にありがとうございました。	者 の
/横浜みどりアップ計画 これまで	———— 佐々	- 1. 引いたい、 一角 いこの こうこう こうこう こう こう こうこう また 一人の市民としてどのようへの支援、地域の在り方や行政としての姿勢、また、 一人の市民としてどのよ	いのよ
――――― 長みらよ、内毎宏、蔦谷花一、翌月今後への期待~市民推進会議発	る子どもへのより良い支援のために ―――― 林田育美③つづきMYプラザ「学校との連携」~外国につなが	となれば幸いです。	かけ
下光ラ 薫名学			١

の受入れ・共生のための環境整備~国へ ·さしい日本語」②/やさしい日本語の今 「暮らしやすさ」を考える - 張珂、林錦園、毛文静、阿部倫三、 新谷惠理子 北川隆範 栗林岳大

500円 (消費税込み)

〒231-0017 横浜市中区港町1-1 TEL.045-671-2028 FAX.045-663-1225 ●「調査季報」は、職員が自由に意見を発表し討論する政策研究誌です。調査研究レポートの投稿をお待ちしています。